

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 5 -

農業・漁業を振興する

目指す姿

- 多種多様な農水産物の生産等が行われるとともに、デジタル技術を活用した新たな機器を導入するなど、事業の拡大が図られています。また、都市近郊の立地が活かされ、多くの市民が農水産業の大切さを肌で感じており、農漁業者は地域への愛着と誇りを持って働いています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
ワンストップ窓口の就農相談件数【累計】	28 件	95 件				168 件
スマート農業の導入支援件数【累計】	10 件	29 件				50 件
農地利用集積面積	153ha	169ha				↗
低利用魚 ¹ 活用数量	-	0.56 トン				↗

1 価値がない、または低いため、水揚げされても市場に出回らない、あるいは出回りにくい魚のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・スマート農業の導入を支援するとともに、農作業受託組織に対して、資機材導入や運営に係る支援を行い、加えて新たに資機材導入に対する市独自の新たな補助制度を創設しました。また、「農業支援ワンストップ相談窓口」で関係機関と連携し総合的に相談対応するなど、経営安定や拡大を図る意欲ある農業者を支援するとともに、認定新規就農者に対して、家賃支援や国の交付金を活用した就農当初の資金支援を行いました。
- ・農道や用排水路の改修や整備を行い、耕作機械の進入が容易となったことで、生産性が向上しました。
- ・農業委員や農地利用最適化推進委員とともに貸手・借手の掘り起こしを行い、農地中間管理機構と連携し農地の貸借のあっせんを実施しました。また、「農業支援ワンストップ相談窓口」において農業相談を受け付け、農地集積を実施しました。

- ・漁業では、平塚市漁業協同組合が実施する漁獲物の高付加価値化や漁場環境を向上させる取組などの支援のほか、地どれ魚直売会の開催日数の見直しやしおかぜ広場でイベント等を開催しました。
- ・農業では、「ひらつか花アグリ」での体験イベント、平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」を活用した幼稚園、保育所、小学校などの訪問事業及び地元生産者の農産物直団体である「軽トラ・ファーマーズ」の大型商業施設への出店等を実施しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・農業者の高齢化や離農が増加するなかで、担い手の確保・育成や農地利用の最適化を推進する必要があります。
スマート農業の導入による農業経営の効率化のほか、認定新規就農者に対し就農当初の資金を支援するなど地域への定着を図るとともに、農地中間管理機構と連携した農地の貸借のあっせんや「農業支援ワンストップ相談窓口」の開設により、農地の集積・集約化を図ります。
- ・市場の出荷に適さない鮮魚が水揚げされています。
平塚市漁業協同組合が実施する、平塚産水産物の高付加価値化に資する事業に対して支援を行います。
- ・都市型の農水産業の理解を深める必要があります。
体験イベントや生産者との交流活動を実施し、市民の農水産業に対する理解を促進するとともに、地産地消に取り組みます。

関連事業

都市農業促進事業、漁業理解促進事業、農道・用排水路整備事業、ひらつか花アグリ推進事業、担い手総合対策事業、水産振興推進事業、農地流動化促進事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	104,619			